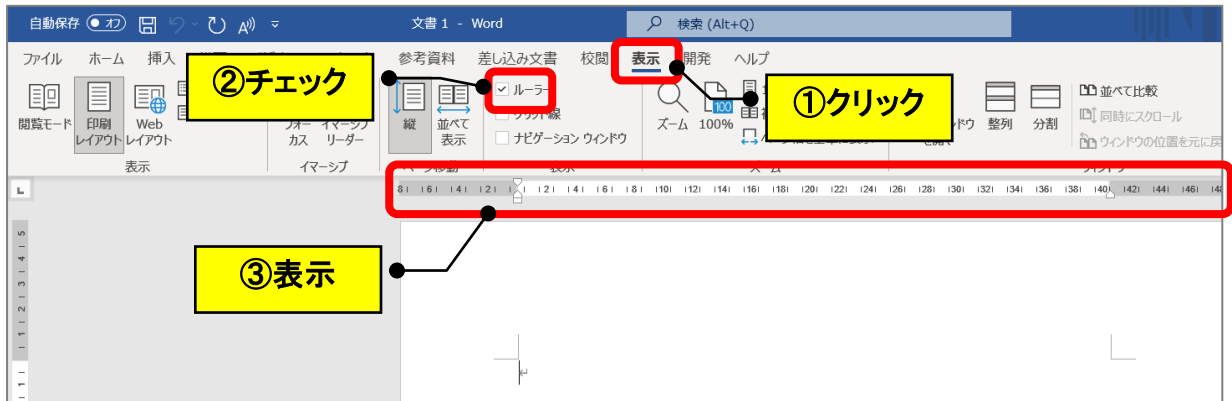


002-00	タブについて	2022-04-10
Word		TOMOMI

<事前準備> 「ルーラー」(目盛り) を表示する

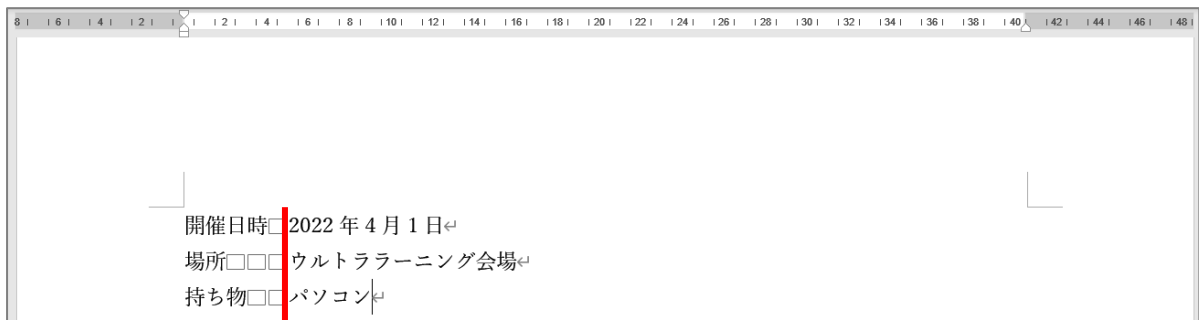
(1) 「表示」 → 「ルーラー」の□をクリックしてチェックする



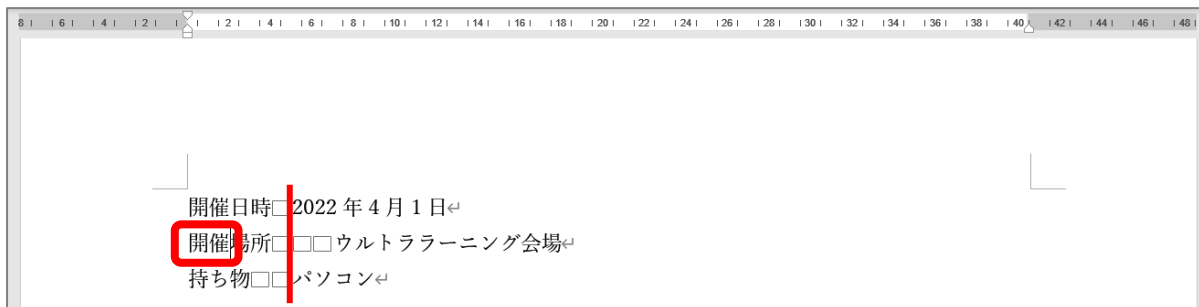
<1> スペースとタブの違い (文字と文字の間)

【スペースの場合】

(1) スペースキーを何回か押して揃える (※□ = スペース)

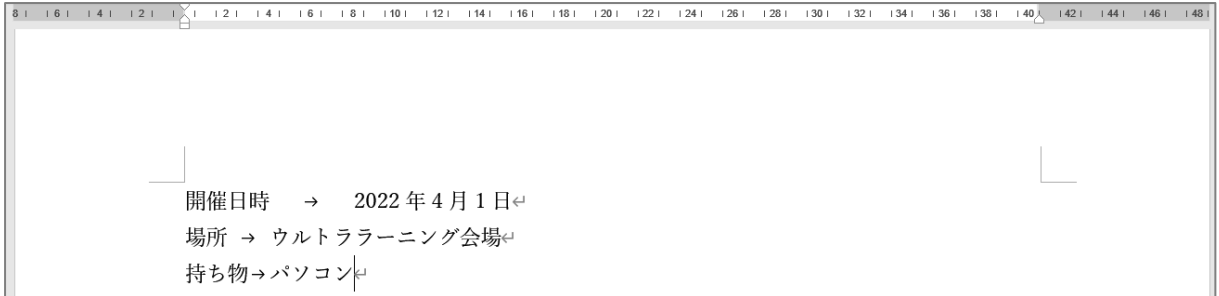


(2) 「場所」を「開催場所」に変更すると、文字がずれて揃わなくなる

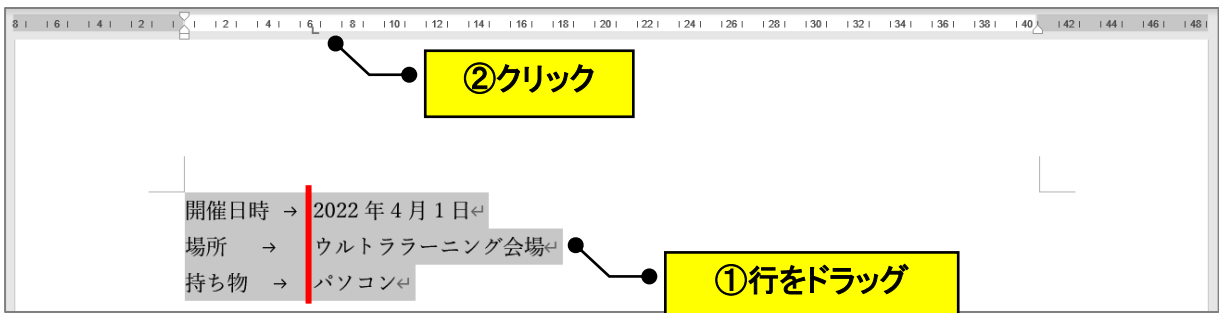


【タブの場合】

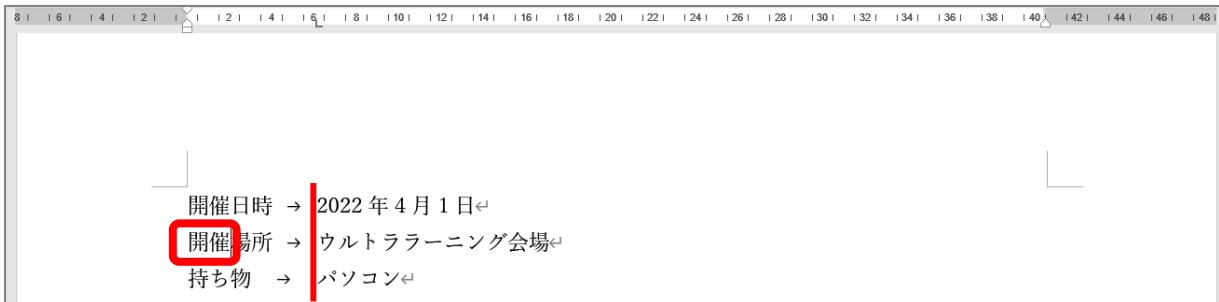
(1) Tab キーを1回だけ押す (※→=タブ)



(2) 設定する行をドラッグして、ルーラーの6の数字の下をクリックする



(3) 「場所」を「開催場所」に変更しても、文字がずれない



★タブは1つでOKなので 「伸び縮みするスペース」 として覚えています♪

(参考) ルーラーに「L」が表示されない場合



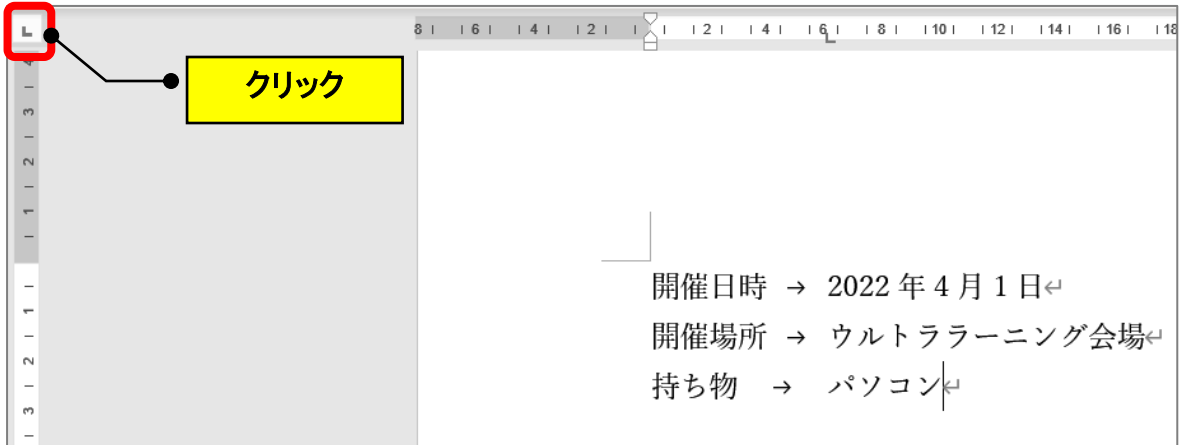
数字の白い部分だと表示されない場合があるので、数字の下のグレーの部分をクリックします。



<2> タブの種類

垂直のルーラーの上部の「L」をクリックすると5種類のタブに変わる

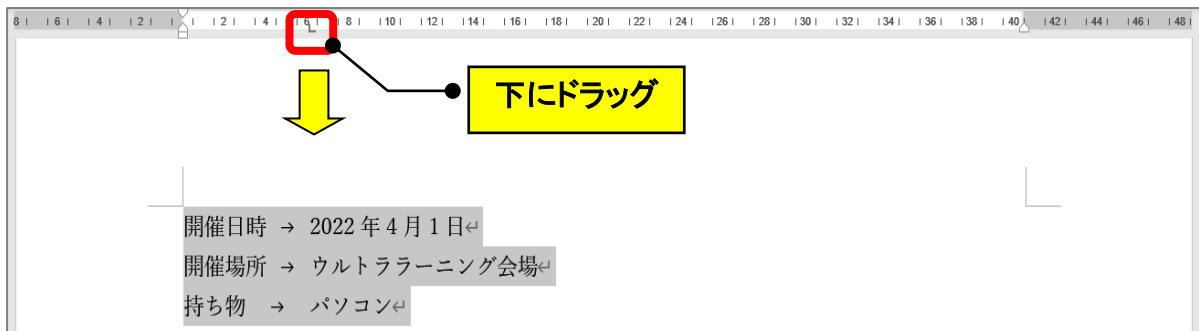
(注：最初の表示が「L」じゃない場合もあります)




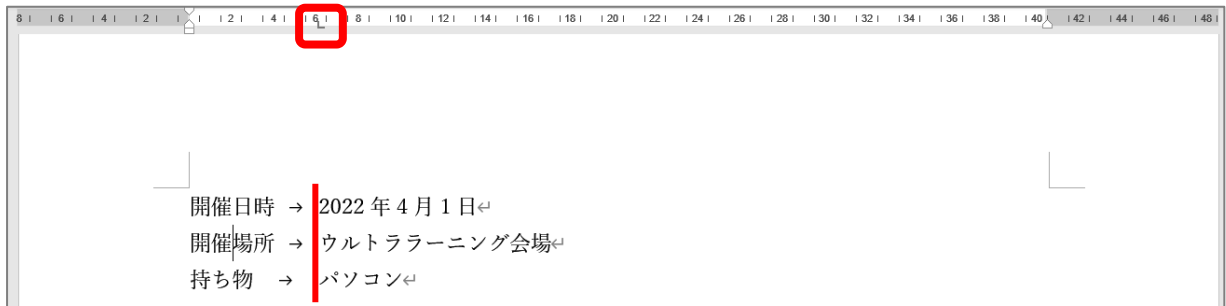
※最後の2つの「1行目のインデント」と「ぶら下げインデント」は、タブとは違う機能です。


(参考) タブを削除する

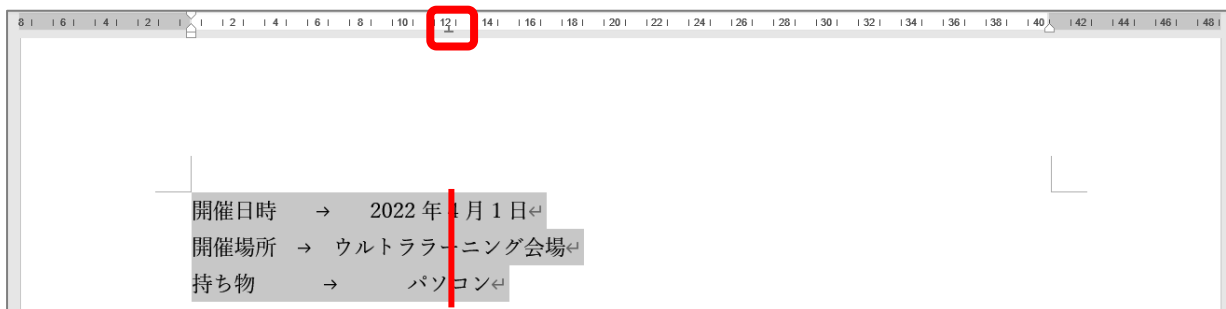
設定を変更する場合は、一旦設定したタブの「L」を下にドラッグして離し、削除します。




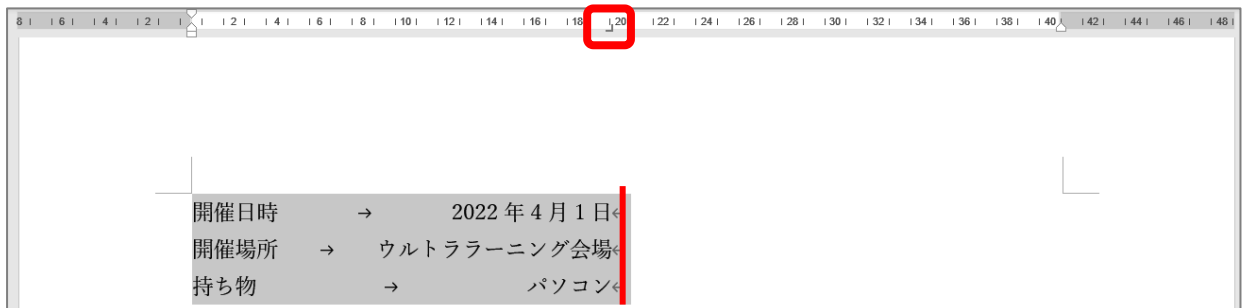
(1)  (左揃え) = 文字が左に揃う



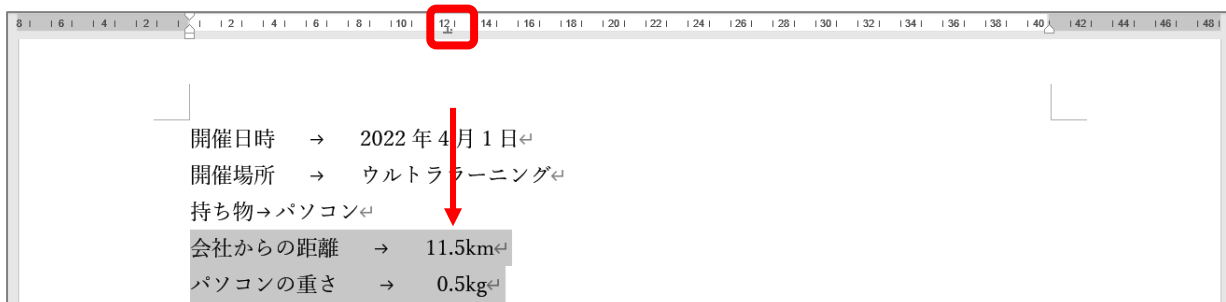
(2)  (中央揃え) = 文字が中央に揃う




(3)  (右揃え) = 文字が右に揃う



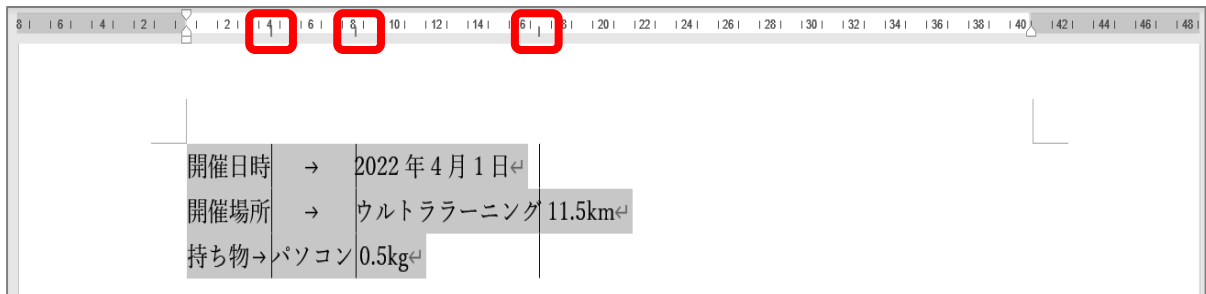
(4)  (小数点揃え) = 小数点が揃う



(5)  (縦棒) = 縦棒が表示

(注) 縦棒タブは、文字列を配置するために使うものではありません。

単純に文章内に縦線を入れるためのものです。よって Tab キーでタブを挿入する必要もありませんし、文字列が動く（配置が変わる）こともありません。



以上